

教育推進部門会議

(数理・データサイエンス・AI教育プログラム推進部会)

点検・評価項目 (大項目)	点検・評価項目 (詳細)	分析手順	担当部門等	点検結果	点検結果の理由	改善・向上に向けた計画	その他特記事項	分析項目に係る根拠資料・データ	備考
「滋賀大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の実施状況及び改善・向上に向けた取り組みの実施状況が適切な水準であること	教育プログラムの実施状況及び改善・向上に向けた取り組みの実施状況が数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度実施要綱及び同細目で定められた水準を満たすこと	・教育プログラムの履修・修得状況、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況を確認する	数理・データサイエンス・AI教育推進部会	○	令和2年度の「データサイエンス入門」及び「データサイエンスへの招待」について履修者数、修了者数が適切であることを確認した。学部によって履修者数に差が大きい。すべての学部学生が履修しており、履修率向上に向けた計画との関係で許容範囲内であることを確認したため。	令和3年度に策定した履修率向上に向けた5カ年計画を着実に実行する。	履修率向上に向けた計画は令和3年度に設定したため、その進捗状況は次年度以降に確認・検証を行う。	・プログラムの履修者数等の実績について (申請書様式3) ・教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について (申請書様式5) ・自己点検・評価について (申請書様式6)	
		・シラバスとモデルカリキュラムの対応を確認する。	数理・データサイエンス・AI教育推進部会	○	令和2年度シラバスを確認した結果、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度の要件であるモデルカリキュラムの5つの審査項目との対応関係があると認められたため。	引き続きモデルカリキュラムとの対応を意識しながら教育内容を充実させる。		・プログラムの授業内容・概要 (申請書様式4-1及び4-2) ・令和2年度「データサイエンス入門」及び「データサイエンスへの招待」のシラバス	
		・学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度を確認する。また、学修成果、担当教員による所見を確認する	数理・データサイエンス・AI教育推進部会	○	令和2年度開講の「データサイエンスへの招待」(計3クラス)の授業評価アンケート結果では、「授業はよく理解できた」、「授業には総合的に満足である」の質問に対して5段階評価で「強くそう思う」、「そう思う」との回答が3クラスで6割〜7割を占め、学生から高い評価を得ていることを確認したため。	今後は学生アンケートに加え、多様な手段で学修成果の評価を確認し、学生の理解度を向上させる。	担当教員による所見については確認中	・自己点検・評価について (申請書様式6) ・授業評価アンケート結果 ・担当教員による所見	
		・教育プログラムの修了者の進路・活躍状況、産業界等外部からの評価を確認する	数理・データサイエンス・AI教育推進部会	/				本プログラムは令和2年度から開始したため、令和2年度については修了者の進路・活躍状況等の確認は具体的には実施していない。	